

# 牧之原市特別支援教育体制

(案)

## 支える行政のしくみ

## 支える連携のしくみ

# 学校教育課



療育手帳を有する支援学級または支援学校へ通学する児童生徒が対象  
※担当：社会福祉課

### 牧之原市就学指導委員会

※担当：学校教育課

年間：3回実施  
構成：言語聴覚士・臨床心理士・支援学校職員・子育て支援課・健康推進課・支援学級担任・学校長代表・幼稚園長代表・適応指導教室・学校医 等含む20名

**専門家チームによるバックアップ体制**  
就学委員から専門家チームを編成し、学校訪問から児童の観察を行い、適切な就学に向けて推し進める。 構成：3名

**静岡県就学指導委員会専門部専門調査**  
年間：2回実施 ※担当：学校教育課  
内容：支援学校入学にあたり県の専門家による面談の実施



### 6～15歳 学齢期 学校体制 子ども一人一人を大切に教育

- 特別支援教育コーディネーターによる推進
- 気になる子の支援計画、指導計画を作成し、個に応じた指導を行う
- 言語聴覚士による巡回訪問にて職員研修を深める
- 校内就学指導委員会を年間3回実施



市内小中学校13校  
 ◎言語聴覚士による巡回訪問  
 ◎専門家チームによる学校訪問  
 ◎特別支援教育担当の指導主事による学校訪問『あると便利な支援体制へ』  
 ◎教員補助員の増員  
 ◎支援学級における「牧之原市式個別指導計画の作成」と「指導要録要録の作成」基準の設置  
 ◎特別支援教育在り方検討会

市の施策

情報提供・情報の共有化

### 担当：適応指導教室「フルール」

- 市内公立私立幼稚園を巡回訪問し年長児童気になる子どもをリストアップする。
- 市内小中校の子どもに関する相談体制（不登校児童・学習指導・心的なこと）

情報共有

### 担当：学校教育課

- 年長児を対象として、入学後、特別な支援を要する子どものリストアップを園へ依頼（要支援調査の実施）
- フルール、園からの情報をもとに気になる子どもを観察し、入学予定校へ早期に情報を伝える。

要支援調査訪問

### 担当：健康推進課

- 各種乳幼児検診から、気になる子どものリストアップ
- 言語聴覚士が学齢児までかかわっていく。
- 乳幼児専門部会へ学校教育課から出席。

情報提供

### 幼児ことばの教室 たんぽぽ・コスモス

**適応指導教室「フルール」**  
市内の公立私立幼稚園を巡回し気になる子を把握し助言を行う。

**駿遠学園 薬科先生**  
市内の公立私立幼稚園を年2回巡回し助言を行う。

**乳幼児専門部会** 年間：2回  
※担当：健康推進課  
気になる子・母子関係等情報の共有

### くすの家の家

定期通園・療育相談 ※社会福祉法人

こぐま教室  
親子教室

わかめサークル  
※窓口：健康推進課

### 1歳6ヵ月・3歳児各種健診

- ※担当：健康推進課
- 乳幼児検診・相談から、気になる子を把握（経過観察）
  - 早期対応に向けて、わかめサークルへつなげる。
  - 言語聴覚士による相談会の実施

健診

### 3～6歳 幼児期 園体制 あたたかく充実した園生活

- 家庭との連携
- 気になる子へのサポート
- 自然体験、感動体験から感性を育む



### 0～3歳 乳幼児期 あたたかな家庭保育

